

<報道関係各位>

「習志野市まちづくり応援事業提案制度」に基づき習志野市と連携  
**習志野市まちづくり応援事業に関する協定を締結**  
「食育」や「環境」に関するコープみらい独自の体験プログラムの講師派遣を行います

コープみらい（本部：埼玉県さいたま市、理事長：新井ちとせ、事業エリア：千葉県・埼玉県・東京都）は、習志野市と「習志野市まちづくり応援事業提案制度」に基づき実施する『コープみらい食育プログラム及びエコプログラム』の講師派遣について、習志野市の宮本 泰介市長とコープみらいの新井 ちとせ理事長による協定の締結を行い、11月20日（火）に習志野市の宮本 泰介市長より「まちづくり応援事業実施団体証明書」が交付されました。

「習志野市まちづくり応援事業提案制度」は、習志野市が目指す公共サービスの担手の多様化や効率的で質の高い公共サービスについて、企業等が行っている地域に密着した社会貢献活動を活かし、企業等と市が協力してより良い公共サービスを提供することを目的に2018年4月にスタートした制度です。

コープみらい千葉県本部では、組合員が講師を担う食育・環境をテーマにした体験プログラム（出前授業）を以前より展開しており、本制度が導入されたことを受け、習志野市に提案、協議を重ねてこのたびの締結に至りました。



宮本泰介習志野市長(右)と新井ちとせコープみらい理事長(まちづくり応援事業実施団体証明書交付時)

『コープみらい食育プログラム及びエコプログラム』には、世界の食料の不公平さや食品ロスを減らす取り組みについて学ぶ「もったいないを知らう」、家庭の廃油を再利用してキャンドルをつくり、環境について学ぶ「エコキャンドルづくり」など13のプログラムがあり、様々な体験を通して食の大切さや環境問題について学ぶことができます。

コープみらいでは、2025年の目指す姿として「食卓を笑顔に、地域を豊かに。」を掲げ、今後とも「SDGs（持続可能な開発目標）」の実現に向けた持続可能な社会につながる取り組みを進めてまいります。



この取り組みは、『SDGs』の目標4  
「質の高い教育をみんなに」に貢献します

コープデリ連合会と会員生協は、2015年に国連で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」の実現に、事業と活動を通して貢献します。

《生活協同組合コープみらい 概要》

- 【住 所】埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5
- 【理 事 長】新井 ちとせ (あらい ちとせ)
- 【組 合 員 数】345万人 (2018年11月20日現在)
- 【総 事 業 高】3,898億円 (2017年度)
- 【事業エリア】千葉県、埼玉県、東京都
- 【ホームページ】<http://mirai.coopnet.or.jp/>